



## 話し手の意図を正しくとらえる力を付ける

大切な文や言葉に線を引いたり、メモしたりする

【話し合い】の記録文を読むときには、立場や考えをはっきりさせている文や言葉に注目させます。その際、大切な文や言葉に線を引くなどチェックをしておく、全文を読み終わったあと、整理しやすくなります。



【話し合い】の様子では、説得力のある意見の述べ方をしていることが分かります。自分が話すときや書くとき生かせるように、文章を読みながら確認していくことが大切です。

### 【話し合いの様子】

石田さん	わたしは <u>クラス対抗に賛成</u> です。アンケート結果①を見ると、 <u>六年生ではクラス対抗に賛成の人が多</u> いからです。これは、 <u>昨年度の結果から次の年こそがんばろう</u> という目標をもっていたのだと思います。今年で最後の長なわ大会なのに、 <u>変えてしまったら六年生がかわい</u> そうです。(中略)	資料を用いて、自分の意見の根拠を述べています。予想したことを話すことで説得力が増します。
小林さん	ぼくは <u>クラス対抗に賛成</u> です。アンケート結果②にもありますが、 <u>たてわり班よりもクラスの方が、練習時間がとりやすい</u> と思うからです。高学年は休み時間に委員会の仕事などがあるので、 <u>全学年が集まって練習する時間がとりにくい</u> と思います。(中略)	クラス対抗のよさを述べたあと、たてわり班対抗の問題点を指摘しています。
田中さん	たてわり班対抗には練習する時間がとりにくいという問題点があります。しかし、 <u>たてわり班はせいそう時間に毎日会っているのだから、みんなで相談して練習時間を決めたらよい</u> と思います。	反論を想定した上で、その解決策を述べています。「論じ返し」によって、説得しています。
岩木さん	ぼくは <u>たてわり班対抗に賛成</u> です。委員会としては、 <u>学校全体のことを見た方がよい</u> のではないかと思います。つまり、 <u>たてわり班で活動すると学年が違ってなかなかよくなれるならば、たてわり班でやるべき</u> です。クラスの団結力を高めるならば、 <u>お楽しみ会などで団結を強めればよい</u> と思います。	たてわり班対抗のよさは、同時にクラス対抗の問題点でもあります。
石田さん	お楽しみ会などで団結を強めると言いましたが、 <u>他のクラスと競うことで団結力が高まって、毎年長なわ大会はもりあがっていた</u> のではありませんか。	今までの経験から、クラス対抗のよさを言うことで、説得力が増します。
岩木さん	他のクラスと競うならば、 <u>十月に全校で行っているドッジボール大会</u> があります。アンケート結果②にもありますが、 <u>たてわり班での活動はあまりないので、長なわ大会はたてわり班対抗がよい</u> と思います。	代替りの案を言うことで、クラス対抗にする必要がないことを説得しています。そして、資料を根拠にたてわり班対抗案をすすめています。

【話し合い】では、資料を用いてそこから考えられる予想を話す、今までの経験を話す、代案を言う、相手の問題点を指摘する、反論を想定した上で解決策を述べて「論じ返し」をするなど、相手を説得するためにいろいろな工夫をしていますね。





### ③自分の体験や予想、解決策を入れて説得力を増す

自分の選んだ理由に、資料や文章から考えたよさだけでなく、自分の体験や予想を入れると、より伝わりやすくなります。  
また、「たしかに～という問題点はあります。しかし、～だと思います。」などの論じ返しの話型を使って、支持する案の問題点と解決策を示すことで、より説得力のある意見文にすることができます。



体験や予想を表現する練習に日頃から取り組みましょう。

ねらいとつなげています。

問題点に対する解決策を述べています。

自分の体験を加えています。

このように、クラス対抗案を実行すれば、クラスのみんなが助け合い、団結力が強まるだけでなく、長なわとびもじょうずになると思います。

たしかにクラス対抗にすると、全校でまとめることができないという問題点があります。しかし、たてわり班とはせいそう活動で毎日会っているので、せいそう時間にあいさつをしたり、低学年の世話をしたりすることを進んで行えばよいと思います。

わたしは、長なわ大会のねらいを達成するために、クラス対抗案に賛成します。  
理由は、クラス対抗でやるとクラスの団結力が高まると思うからです。去年の長なわ大会では、とべる人がとべない人に、いっしょうけんめいとび方を教えていました。とべるようになった人は、とてもうれしそうでした。その結果、記録がどんどんのびて、学年で一位をとることができました。力を合わせれば、よい結果が出ると思えました。

ねらいとつなげています。

問題点に対する解決策を述べています。

自分の体験から予想しています。

このように、たてわり班対抗案を実行すれば、学年が違ってもみんながなかよくなり、団結して長なわとびをすることができると思います。

たしかに、たてわり班には練習時間がとりにくいという問題点があります。しかし、委員会では何日の昼休みというように決めてしまい、その日は他に何の活動も入れないというようにしたら、かえって練習時間がきちんととれると思います。

ぼくは、長なわ大会のねらいを達成するために、たてわり班対抗案に賛成します。  
理由は、たてわり班対抗でやると学年に関係なくなかよくなれると思うからです。多くの学校ではたてわり班でせいそうをしています。どの学年もたてわり班のみんなの名前を覚え、ろうかななどで会うとあいさつをするようになりました。たてわり班で活動することで全校のみんなが知り合い、なかよくなれると思います。